

# 世界史

## 〔注 意 事 項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は15ページ、解答用紙はマーク・シート1枚です。監督者の指示に従って確認しなさい。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があってから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 世界史

(60分 100点)

I 中世都市の発展について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。  
(32点)

西ヨーロッパの封建社会は西暦1000年頃から安定し、<sup>(A)</sup> 荘園内の農業生産が増大すると、余剰生産物の交換が活発となり定期市が開催されるようになった。またムスリム商人やノルマン人の商業活動によって貨幣の使用が拡大し、さらに十字軍の<sup>(B)</sup> 影響により交通が発達すると、地中海商業圏で  がさかんとなった。 ・ジェノバ・ピサなどイタリアの海港都市は、おもに香辛料・絹織物・宝石など奢侈品を輸入し利益をあげた。<sup>(D)</sup> またミラノ・フィレンツェなど内陸都市も毛織物産業や  で栄えた。これに次ぐ重要な商業圏は、北海・ を中心とする北ヨーロッパ商業圏である。北ドイツの  ・ハンブルク・ブレーメン、フランドル地方のアントウェルペン（アントワープ）・ブリュージュ・ガン、イギリスの  ・ブリストルなどが、海産物・木材・塩・毛皮・穀物・毛織物といった生活必需品を取引していた。とくに  は北海貿易の中心で<sup>(E)</sup> フランドル地方に羊毛を輸出し、フランドル地方の諸都市は毛織物生産で繁栄した。さらにこれら二つの大商業圏を結ぶ内陸の通商路にも都市が発達し、 地方では定期的に大市が開かれ、各国の物産が取引された。

成立期中世都市は、近在の封建領主の保護を受けることもあったが、経済力の上昇とともにしだいに自治への要求を高めていった。11～12世紀以降各地の都市はつぎつぎに自治権を獲得し、自治都市となった。北イタリア諸都市は、領主である司教権力を打倒して、自治都市  を形成し、一種の都市国家として完全に独立した。これに対しドイツの諸都市は、皇帝直属の自由都市（帝国都市）として諸侯と同じ地位に立ったが、都市によっては皇帝への貢納・軍役の義務を負った。これらの自治都市は、人口・規模などの点で皇帝や諸侯に劣る場合が多く、軍事的圧力に対抗するためあるいは共通の利害のために、都市同盟を結成した。北イタリ

アの諸都市は、神聖ローマ皇帝の南下政策に対抗し  同盟を形成した。また北ドイツ諸都市は  を盟主とするハンザ同盟を形成し、その最盛期には北欧からロシア・イギリス・ネーデルラントなど、地中海沿岸をのぞく全ヨーロッパで商業活動を展開した。

これら西ヨーロッパの自治都市の生活は、荘園の農奴の生活と比べればかなり自由であった。そのため都市周辺の荘園の農奴たちが封建的束縛から逃れ、自由を求めて都市に流れこむこともあった。各自治都市は、独自の行政組織をもって自治にあたった。都市の自治運営の基礎となった組織が、ギルドと呼ばれる同業組合で、都市の自治権獲得運動に中心的な役割を果たした。当初大商人の指導する商人ギルドが市政を左右していたが、やがてこれを不満とする手工業者は職種別の同職ギルドを形成し、商人ギルドと対抗しながら市政参加を勝ちとった<sup>(F)</sup>。その一方で、15～16世紀になると、蓄積した富の力によって皇帝の地位を左右したり、一族から教皇をだすような富豪もあらわれた<sup>(G)</sup>。彼らは、商業金融資本家の典型であり、荘園経済を支配した土地にかわり、貨幣という新しい力が支配する時代を先取りした。

問1 文中の空欄  ～  に入る語句として正しいものを、次の①～④の中からそれぞれ1つ選びマークしなさい。

- |                                |           |           |
|--------------------------------|-----------|-----------|
| <input type="text" value="1"/> | ① 紅海貿易    | ② 三角貿易    |
|                                | ③ 遠隔地貿易   | ④ 奴隷貿易    |
| <input type="text" value="2"/> | ① ヴェネツィア  | ② バルセロナ   |
|                                | ③ ローマ     | ④ マルセイユ   |
| <input type="text" value="3"/> | ① 綿工業     | ② 石炭業     |
|                                | ③ 鉄工業     | ④ 金融業     |
| <input type="text" value="4"/> | ① 黒海      | ② アドリア海   |
|                                | ③ バルト海    | ④ エーゲ海    |
| <input type="text" value="5"/> | ① リューベック  | ② アウクスブルク |
|                                | ③ フランクフルト | ④ ニュルンベルク |

- |   |           |            |
|---|-----------|------------|
| 6 | ① マンチェスター | ② ロンドン     |
|   | ③ リヴァプール  | ④ グラスゴー    |
| 7 | ① アルザス    | ② ベルギー     |
|   | ③ ザール     | ④ シャンパーニュ  |
| 8 | ① ミット     | ② ウンマ      |
|   | ③ ミール     | ④ コムーネ     |
| 9 | ① カルマル    | ② ユトレヒト    |
|   | ③ ロンバルディア | ④ シュマルカルデン |

問2 下線部(A)に関連して、10世紀～11世紀の封建社会の記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 10

- ① 農奴は移動の自由がなく、領主に対して賦役と貢納の義務を負った。
- ② 農奴は、結婚税、死亡税を領主におさめる義務を負った。
- ③ 領主は国王の役人の荘園への立ち入りや課税を拒む権利を有していた。
- ④ 領主が農地を農奴から取りあげ、生け垣や塀で囲い込んで牧場にする囲い込みがすすんだ。

問3 下線部(B)に関連して、ノルマン人の活動の記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 11

- ① 1016年デーン人の王クヌートがイングランドを征服した。
- ② ルーシが、9世紀後半ノヴゴロド国、ついでキエフ公国を建設した。
- ③ 12世紀前半南イタリアとシチリア島に侵入し、両シチリア王国を建設した。
- ④ 黒海北岸からドナウ川中流のパンノニア平原に定住し、10世紀末ハンガリー王国を建設した。

問4 下線部(C)に関連して、十字軍の記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 12

- ① ヴェネツィア商人の要求の結果として、ラテン帝国が建設された。
- ② 東方との交易が盛んになると、東西間で人とももの交流が活発になり、西ヨーロッパ人の視野が拡大した。
- ③ あいつぐ遠征の失敗により、ローマ教皇の権威がゆらぎはじめた。
- ④ カスティリャ女王イサベルとアラゴン王フェルナンドは、イスラーム勢力の最後の拠点グラナダを陥落させた。

問5 下線部(D)に関連して、これらの都市と交易していた都市・地域として最も適当なものを、次の①～④から1つ選びマークしなさい。 13

- ① コンスタンティノーブル                      ② マラッカ
- ③ アカプルコ                                      ④ ゴア

問6 下線部(E)に関連して、オランダについての記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 14

- ① ネーデルラント北部7州は、オラニエ公ウィレムのもと、ネーデルラント連邦共和国の独立を宣言した。
- ② アムステルダムが、アントウェルペン（アントワープ）にかわって国際金融の中心となった。
- ③ ユグノーと呼ばれるカルヴァン派の新教徒勢力が無視出来ない存在となった。
- ④ 1602年東インド会社を設立し、東南アジアにまで貿易網を広げた。



Ⅱ 中国におけるキリスト教布教の歴史について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(34点)

中国では、儒教・仏教・道教をあわせて「三教」<sup>(A)</sup>とよんでいた。儒教と道教は中国で生まれたものだが、仏教はインドで生まれ、を經由して中国に伝えられた、いわば外来宗教である。のちに仏教は中国各地に広まり、定着した。時代が下り、7世紀頃にはキリスト教の一派が中国に伝来したが、9世紀半ばの外来宗教取締まりにより衰微し、このときは仏教のように中国に定着することはなかった。

一方、北アジアの遊牧民族の間では、宣教師の布教活動により、11世紀以降、キリスト教が広まっていった。13世紀初頭に<sup>(B)</sup>大モンゴル国が形成され、東西の交通路が整備されると、ローマ教皇はを使節としてモンゴル高原に派遣した。13世紀末には、イル＝ハン国からローマに使節が派遣されたことをきっかけとして<sup>(C)</sup>が派遣され、中国でのキリスト教布教がはじまった。イタリアの商人マルコ＝ポーロもこのころ中国に到達しており、帰国後にその見聞をまとめたは、ヨーロッパで反響を呼んだ。

16世紀にはいると、イエズス会の宣教師による海外布教が活発になる。16世紀末にマテオ＝リッチが中国に入り、布教を行った。リッチはヨーロッパの自然科学や軍事技術<sup>(D)</sup>に関心を持つ層に向けて、知識や技術の伝授とともに布教を進めた。リッチに学んだは、ヨーロッパの科学技術の導入に努め、リッチの翻訳編纂事業に協力した。

17世紀半ばに明を滅ぼして中国支配を開始した清は、イエズス会の宣教師を技術者として重用した。<sup>(E)</sup>マテオ＝リッチ以降、イエズス会の宣教師たちは中国文化を尊重し、信者の孔子崇拝や祖先祭祀などの儀礼を容認してきた。しかし17世紀半ばから中国にきたイエズス会以外の団体の宣教師は、イエズス会の方針に反発し、<sup>(F)</sup>ローマ教皇庁にイエズス会の布教方針の禁止を訴えたため、論争になった。この結果、教皇が中国人信者の孔子崇拝・祖先祭祀を禁止する教令を発したため、康熙帝はイエズス会以外の布教を禁じ、雍正帝はほとんどすべての宣教師を国外に追放して、キリスト教布教を禁止した。これにより、中国におけるキリスト教布教活動は、一時中断することとなった。

19世紀に入り、プロテスタントの宣教師が中国に来て布教活動を行うようになった。宣教師たちは広州などで、科挙の受験者たちに教義解説書を配布して布教に努めた。この解説書に触発された一人が、 であった。彼はキリストの弟と自称して宗教結社をつくったが、弾圧をうけて広西にうつった。広西で多数の信者を獲得した<sup>(G)</sup> は、1851年に拳兵、太平天国をたてた。貧困を逃れ救済を求める民衆をまきこみつつ太平天国軍は北上し、53年には南京を占領して首都と定めた。太平天国は「」をスローガンとし、清朝打倒をめざした。だが北京攻略軍の敗退、太平天国政府の内部争い、湘軍・淮軍などの による反撃や諸外国の支援などにより徐々に衰退し、1864年に首都が陥落して、太平天国は滅亡した。<sup>(H)</sup>

問1 文中の空欄  ～  に入る語句として正しいものを、次の

①～④の中からそれぞれ1つ選びマークしなさい。

- |    |               |               |
|----|---------------|---------------|
| 17 | ① 南越          | ② 西域          |
|    | ③ 北朝          | ④ 東周          |
| 18 | ① プラノ＝カルピニ    | ② ウルグ＝ベク      |
|    | ③ イブン＝バットゥータ  | ④ ルブルック       |
| 19 | ① フランシスコ＝ザビエル | ② モンテ＝コルヴィノ   |
|    | ③ レジス         | ④ イグナティウス＝ロヨラ |
| 20 | ① 『旅行記』       | ② 『海国図志』      |
|    | ③ 『南海寄帰内法伝』   | ④ 『世界の記述』     |
| 21 | ① 士大夫         | ② 貴族          |
|    | ③ 卿           | ④ 宗族          |
| 22 | ① 董其昌         | ② 李時珍         |
|    | ③ 徐光啓         | ④ 李贄          |

- 23 ① 黄巢 ② 呉三桂  
③ 朱元璋 ④ 洪秀全

- 24 ① 反清復明 ② 滅満興漢  
③ 扶清滅洋 ④ 中体西用

- 25 ① 郷勇 ② 郷紳  
③ 紅軍 ④ 綠營

問2 下線部(A)に関連して、道教教団を作り、北魏の皇帝の信任を受け勢力をのびした人物を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 26

- ① 張角 ② 王仙芝 ③ 寇謙之 ④ 王重陽

問3 下線部(B)に関連して、大モンゴル国の説明として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 27

- ① 軍事・行政組織として、千戸制をしいた。  
② ホラズム＝シャー朝をたおして西北インドに侵入した。  
③ ワールシュタットの戦いでドイツ・ポーランド連合軍を破った。  
④ ジュンガルを滅ぼして東トルキスタン全域を占領し、「新疆」と称した。

問4 下線部(C)に関連して、イル＝ハン国がおさめた主な地域を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 28

- ① イラン・イラク ② インド  
③ 東南アジア ④ チベット

問5 下線部(D)に関連して、マテオ＝リッチの業績として最も適切なものを、次の

①～④の中から1つ選びマークしなさい。 29

- ① 農業技術・農業政策の総合書『農政全書』を<sup>へんさん</sup>編纂した。
- ② イスラームの天文学を取り入れて授時暦をつくった。
- ③ 世界地図「坤輿万国全図」を作製した。
- ④ 産業技術書『天工開物』をつくった。

問6 下線部(E)に関連して、中国全図『皇輿全覧図』の作製に協力した宣教師を、

次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 30

- ① アダム＝シャル
- ② ブーヴェ
- ③ フェルビースト
- ④ カスティリオーネ

問7 下線部(F)に関連して、この論争のよび名として正しいものを、次の①～④の

中から1つ選びマークしなさい。 31

- ① 普遍論争
- ② 東方問題
- ③ 典礼問題
- ④ 大義名分論

問8 下線部(G)に関連して、この宗教結社の名前を、次の①～④の中から1つ選び

マークしなさい。 32

- ① 拝上帝会
- ② 五斗米道
- ③ 義和団
- ④ 白蓮教

問9 下線部(H)に関連して、諸外国が清の支援に転じたきっかけとなった条約の内容について最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

33

- ① 香港島をイギリスに割譲した。
- ② 上海・寧波・福州・廈門・広州の5港を開港した。
- ③ 外国軍隊の北京駐屯を認めた。
- ④ キリスト教布教の自由を認めた。

Ⅲ ムスリム商人の活動とイスラーム教の拡大について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(34点)

イスラーム教徒はいまや世界の各所に存在しており、その人数は、現在、十数億人ともいわれ、キリスト教徒の人数に次いで多いとされている。

アラビア半島で生まれたイスラーム教は、アジア・アフリカにまたたく間に広がり、またヨーロッパにも侵入する。すなわちムハンマドの死後、イスラーム教徒はカリフの指導のもと、ジハード（聖戦）を開始し、東方では [ 34 ] を滅ぼし、西方ではシリアとエジプトを [ 35 ] から奪った。661年に開かれたイスラーム王朝である [ 36 ] は、ソグディアナとインド西部、西方では北アフリカを征服し、やがてイベリア半島に進出して [ 37 ] を滅ぼした。このように、イスラーム教は、7世紀半ばから約1世紀の間に、中央アジアからイベリア半島まで大帝国が建設されるとともに広がり、イスラーム世界を成立させたのである。そしてこの大帝国の拡大と貨幣経済の発展をもとに、ムスリム商人がその活動範囲を広げることが、イスラーム教のさらなる拡大の契機となったのであった。

インドでは、アフガニスタンを拠点とするガズナ朝と、ガズナ朝から独立した [ 38 ] がインドへの侵入を繰返し、13世紀初めにインドで最初のイスラーム政権が誕生した。  
(A)

東南アジアにおいて13世紀には、ムスリム商人や神秘主義教団の活動によって東南アジアの諸島部にイスラーム教が浸透し、東南アジアで最初のイスラーム政権が誕生した。<sup>(B)</sup>その後15世紀に [ 39 ] の王がイスラーム教に改宗したことが、この地域でのイスラーム化の重要な契機となった。

アフリカでは、西アフリカの [ 40 ] は金の産出が多かったこともあり、ムスリム商人が岩塩を持って訪れ、金と交換した。その後11世紀後半にムラービト朝の攻撃により [ 40 ] が衰退し、このことが西アフリカのイスラーム化をうながした。その後成立した「黄金の国」 [ 41 ] やソンガイ王国の支配階級はイスラーム教徒であった。ニジェール川の大湾曲部に位置した [ 42 ] は、内陸アフリカにおけるイスラームの学問の中心地となった。また、モガディシュ以北のアフリカ東岸の海港では古くからアラビア・イランとの海上交易がおこなわれてきた。

10世紀以降、その南部の海港都市にムスリム商人が住みつき、それらの都市はインド洋交易の拠点となり、さらに南方では <sup>(C)</sup>  がこの交易によって栄えた。この一帯で共通語として用いられるようになった  はムスリム商人との商業の必要上生まれたのである。

また、ムスリム商人は、中国・インド・ヨーロッパを結ぶ交易活動により、文明 <sup>(D)</sup> の交流にも大きな役割を演じた。長安を都とした  代の中国では、海路を通じてアラブ・イスラーム系のムスリム商人が増え、揚州・広州などの華中・華南の港町が発展した。11世紀以降、イスラーム圏からもたらされたギリシアの古典も、 <sup>(E)</sup> アラビア語からラテン語に翻訳されるようになり、 学問も発展した。

問1 文中の空欄  ～  に入る語句として正しいものを、次の①～④の中からそれぞれ1つ選びマークしなさい。

- |           |          |            |
|-----------|----------|------------|
| <b>34</b> | ① セレウコス朝 | ② アケメネス朝   |
|           | ③ ササン朝   | ④ アンティゴノス朝 |
| <b>35</b> | ① ビザンツ帝国 | ② 西ローマ帝国   |
|           | ③ フランク王国 | ④ ブルグント王国  |
| <b>36</b> | ① 後ウマイヤ朝 | ② アッバース朝   |
|           | ③ ウマイヤ朝  | ④ ファーティマ朝  |
| <b>37</b> | ① 西ゴート王国 | ② ランゴバルド王国 |
|           | ③ 東ゴート王国 | ④ ポルトガル王国  |
| <b>38</b> | ① クシャーナ朝 | ② ロディー朝    |
|           | ③ ヴァルダナ朝 | ④ ゴール朝     |
| <b>39</b> | ① マラッカ王国 | ② マジャパヒト王国 |
|           | ③ マタラム王国 | ④ アチェ王国    |

- |    |              |            |
|----|--------------|------------|
| 40 | ① メロエ王国      | ② クシュ王国    |
|    | ③ ニザーム王国     | ④ ガーナ王国    |
| 41 | ① カネム＝ボルヌー王国 | ② マリ王国     |
|    | ③ アクスム王国     | ④ アワド王国    |
| 42 | ① バグダード      | ② トンブクトゥ   |
|    | ③ カイロ        | ④ アレクサンドリア |
| 43 | ① ラーンサーン王国   | ② マイソール王国  |
|    | ③ バンテン王国     | ④ モノモタパ王国  |
| 44 | ① スワヒリ語      | ② アラビア語    |
|    | ③ ペルシア語      | ④ ウルドゥー語   |
| 45 | ① 隋          | ② 唐        |
|    | ③ 宋          | ④ 元        |

問2 下線部(A)に関連して、このインド最初のイスラーム政権を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 46

- |           |         |
|-----------|---------|
| ① 奴隷王朝    | ② シク王国  |
| ③ マラーター王国 | ④ ハルジー朝 |

問3 下線部(B)に関連して、神秘主義の説明として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 47

- ① 魂が救われるかどうかはあらかじめ神により決定されている。
- ② 形式的な信仰を排して神との一体感を求める。
- ③ 第4代正統カリフと彼の子孫のみをイスラーム共同体の宗教的・政治的指導者と考える。
- ④ 12代イマームのムハンマドが終末にマフディー（救世主）となってあらわれ正義を実現するとされる。

問4 下線部(C)に関連して、これらの海港都市として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 48

- ① モンバサ      ② マリンディ      ③ マラケシュ      ④ ザンジバル

問5 下線部(D)に関連して、この文明の交流に関わる説明として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 49

- ① 交子・会子が紙幣として使用されるようになった。
- ② イタリアの諸都市はエジプト・インド・東南アジア・中国の物品を購入した。
- ③ モンゴル帝国によって施行された駅伝制により交易が盛んにおこなわれた。
- ④ ダウ船を用いて進出し、居留地を作って住みつく者もあらわれた。

問6 下線部(E)に関連して、このヨーロッパへの影響の説明として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 

50
----

- ① アルクインらの学者がまねかれ、ラテン語による文芸復興がおこった。
- ② モスクや市場を中心とした都市生活が生まれた。
- ③ 12世紀ルネサンス開花のきっかけとなった。
- ④ 美術ではドームとモザイク壁画を特色としていた。